

健全なM&A普及人材育成プロジェクト

M&A実践経営者と担当したM&A仲介企業が連携し健全なM&A普及を目指す事業です

後継者不在中小企業経営者

M&Aは第三者に自社の経営を委ねる手法で後継者不在中小企業にとって最適な事業承継手法ですが、多くの経営者が躊躇しています。日本では約120万社の中小企業が後継者不在と言われています。本プロジェクトは、M&Aの良さを理解した後継者不在中小企業経営者が自社売却を決断し、自社売却成立後その経験を元に、自社売却に躊躇している経営者を支援する側に立ち、廃業しようとしている企業を救済していきます。



M&A成立

健全なM&A仲介企業

健全なM&A仲介企業とは、経済産業省が策定した「中小M&Aガイドライン」を遵守し、譲渡企業・譲受企業の双方の利益を尊重し、透明性の高い手続きと誠実な業務遂行を行う事業者を指します。単に案件を成約させることだけでなく、中小企業の事業承継や成長を支援し、長期的視点に立って関係者の利益最大化に貢献する企業です。中小企業庁の「M&A支援機関登録制度」に登録し、ガイドラインに沿った業務を行うことを明言しています。

【著書ご案内】

著者 鈴木均
アマゾンでご購入頂けます

M & A 推進アドバイザー誕生

【企画提案者】

株式会社メルサ 鈴木均

経営の終着駅が幸せであるために

多くの経営者にとって自社売却の最大の不安は、「会社を譲った後の人生が見えないこと」にあるかもしれません。『経営の終着駅が幸せであるために』（著者：鈴木均）は、そうした経営者に対し、「決断の先にどのような日常があるのか」「どのような心境の変化があるのか」「どのように新たな人生を築いていくのか」を具体的に提示することで、M&Aを“現実の選択肢”として捉えるきっかけを提供します。後継者不在中小企業の経営者にお勧めします。本著は著者の自社売却から24年間のM&A人生を凝縮し提言するものです。

M & A 推進アドバイザーとは

M&A推進アドバイザーとは、本プロジェクトにおいてM&Aを成功させた中小企業経営者が担うネクストステージの役割です。自らの経験をもとに、M&Aの決断に迷う経営者に寄り添い、実体験に基づく助言を行います。ボランティアとしても、個人ビジネスとしても、自身のペースで関わりながら、次の人生を楽しみつつ社会に貢献できる新たな活動です。「廃業の当事者から承継の伴走者へ」の小見出しで、著書「経営の終着駅が幸せであるために」で提言しています。

プロジェクトの目的

M&Aを決断・実践する経営者と、その仲介を担うM&A仲介会社が連携する取り組みです。M&A成立後、経営者は自らの経験を活かし、M&A推進アドバイザーとして仲介会社と再度連携し、後継者不在で廃業危機にある企業のM&Aをサポートします。この取り組みの広がり、M&Aをためらう中小企業経営者の意思決定を後押しし、M&Aの広がりを目指します。健全なM&A仲介業者とM&A経験者の連携は健全なM&Aのイメージを彷彿とさせます。表記の「健全なM&A普及人材」とはM&Aを成功させた中小企業経営者を指します。